

## 第2回 団体交渉

2016年3月17日(木) 10時〜第2回団体交渉が行われました。

経営側からは取締役・伊藤部長・深澤次長、組合側からは執行部6名が出席しました。

(経営側) 修理手当については、具体的に検討し

ます。雪などの天災による遅刻については点呼で告知をし、ハンドル時間を補償することで出勤を促していこうと思っています。

また、1日分の有給についても組合が言うように証明書がなければ認めないことや、時間に対しての条件をきちんと管理すれば検討の余地はあります。

(組合側) 1日分の有給を認めるということは、言い方を変えれば有給を使わず日勤で乗務ができるということなので、経営側にとっても稼働させることは良いことだと思います。

(経営側) 問題はフレックスタイムのため、前半を有給に使用した場合の出庫が管理できないことです。

(組合側) 点呼を行う都合上、出庫時間はナイトの時間に合わせれば良いのではないですか？それより早い出勤は認めず、帰庫時間を調整すれば管理はできます。

(経営側) 会社としては半分でも出してもらい、翌日に可能であれば日勤で出る方法を含めて1日分の有給休暇は今後具体的に検討します。

(組合側) 賞与部門の要求についてはどうですか？

(経営側) 5%では検討の余地はないです。0.05%なら検討します。

(組合側) 配分率アップの要求をしていますが、更なる上乘せが難しいと言うならポイントの見直しなどで頑張った者に対しての評価を上げる回答をして下さい。

公出日を選択制にするなど、稼働を上げるために考えられることはあると思います。(経営側) ポイントの見直しは稼働が上がるかどうかの根拠がないので、そこに20,000円支払うというのは現状出ている人に増やすだけになってしまいます。公出日を選択制にすることは、すぐに回答することはできません。検討します。

次回は3月24日に交渉を行います。

## 3・8安全破壊の白タク合法化阻止！ ハイタク労働者総決起集会



全自交 伊藤実委員長

2016年3月8日、日比谷公会堂にてハイタク労働者8産別25000人が結集し、「白タク導入阻止」に向けて運動の輪を広げていく為の集会決議を採択しました。

全自交労働連・交通労働連・私鉄総連・KPU・全中労・中労協・労協労働連・自交総連が「白タク合法化は輸送の安全・安心確保の努力を根本から覆される」という危機感から実行委員会を組織し、日頃の運動方針や思想の枠を乗り越えて、共通の「たすき」と「鉢巻き」をつけ結集しました。

戸崎肇氏

坂本克己氏



実行委員長の全自交伊藤実委員長の挨拶では、「ハイタク規制緩和の時に実現しなかった8産別がこれまでの経過を乗り越えて大同団結した歴史的な集会です。ウーバーが過疎地に配車サービスを行うことが認められましたが、彼らの真の狙いは過疎地ではなく、都市部への進出にあります。ライドシェアが実行されれば、労使が道路運送法の下、利用者の安全・安心を確保するため取り組んできた努力が根本から覆されます。長い闘いになりますが、集会参加の皆さんをはじめ、全国のハイタク労働者の力を結集して何としても阻止しよう」と団結を訴えました。

来賓の、坂本克己・全タク連タク事業適正化・活性化推進特別委員会本部長が「私たちはお客様の命を預かり、安全・安心な輸送を提供しているが、ライドシェア推進派は命より金が目的。保険業もやっているから、それで更なる「伏魔殿」の官邸には妖怪がいる。何としても出鼻をくじかなければならない」と述べました。

利用者代表の佐藤千恵子さんは「飛行機の客室乗務員時代に通勤でタクシーを利用しておりましたが、気の休まる時間でした。海外では非認可タクシーを使い事件になるケースをよく聞きました。日本のタクシーはそんなことがない」と毎回安心して利用できます。「いつまでも安心して乗れるタクシー社会」を今後も守って欲しいです」と参加者に呼びかけました。

学識者として出席した早稲田大学商学学術院の戸崎肇教授は「ライドシェアはタクシーが公共交通機関として位置付けられた動きに真っ向から対立する。世論に安さ、利便性を求める声が強い中で反対していくためには、論拠を示し、具体的に反対していかなければならない」と述べました。

政界からも野党の代表と与党の議員が応援演説し、白タクを阻止するためにタクシー労働者と共に頑張っていこうと呼びかけました。大会終了後、日比谷公会堂から東京駅八重洲口へ向けデモ行進を行い、銀座周辺の通行人に白タクの危険性を訴えました。

今回の集会はメディアでも取り上げられ、テレビ朝日やNHKのニュースなどで報道されました。もつと世の中の人に現状を知ってもらい、今後も反対運動を強化していかなければなりません。

東洋交通からは56名が集会に参加しました。ご協力頂いた組合員の皆さん、ありがとうございました。

